

2年学年だより



小松市立安宅中学校
2020.11.6 No.26

心と体の健康講座 — 思春期の性と心 —

11月5日(木)にゆたか助産院の吉田みち代先生を講師にお迎えして、講話をしていただきました。お話を聞いてのみなさんの感想を紹介します。



かけがえのない命

この講演会で、男子と女子とでは距離感が違うということが分かりました。異性と関わる時、この距離感の違いを意識していこうと思います。

自分は1/3500000000の確率で生まれてきたから、自分を大切にしようと思います。



相手のことを考える

性別の違いについて知り、今まで相手の人がどのように思っているのかなど、考えずに接してきたけど、今日の講座で、自分が良ければそれで良いと思っていたことは、相手がどこまでを望んでいることを考えて、性と付き合う中で行動していきたいと思います。

生活の中で活かそう

今日の講座では、思春期の身体の成長について細かく教えていただき、どのような変化が起こるのか詳しく知ることができた。

また、人と人との社会的距離については、男女の目線など詳しく知ることができた。社会的距離は、今後使う可能性があるのも、覚えておきたいと思った。

1人で悩まず相談を

性のことについて、あまり知識がありませんでした。男性と女性がどう違うのか分かったし、人と接する時の距離感について知り、距離を保って生活しようと思いました。そして、性のことで悩むことがあったら、保健の先生に相談したりして、一人で悩むことがないようにしようと思いました。

相手との距離感を大切に

今日の講座では知らない言葉もたくさん出てきて驚きました。古次先生と小野先生の実演で、自分は人との距離が近いということが分かりました。僕は人と近づきたいのかもしれませんが、相手は少し距離を保って欲しいことなども考えさせられました。これからは、相手に距離感覚を合わせようと思います。



命の大切さ

赤ちゃんのお腹の中での成長について教えてもらい、自分自身もそうなんだと考えさせられた。ドラマ「コウノドリ」も観ていたけど、新しい命が生まれる瞬間は感動した。さらに、将来は異性と交流したりすることも増えるし、いい勉強になったと思った。先生方の距離感の実演では、初めて会う人達に接する時も、いきなり近づいてドン引きされたりしないように、距離感に気をつけ、人との接し方を大切に考えていこうと思いました。

責任のある行動を

「性」は恥ずかしいものではないことがわかった。男女の協力で生命をつくり出すというのは、簡単そうで難しい。そう思うと神秘的だと思った。若い時に出産すると、男性が逃げてしまうことがあると聞いたことがあるので、あまり若い時の出産に対し、良い印象を持つ人が多くないのかなとも思った。自分達で責任がとれないなら、よく考えるべきだと思った。また、最近パーソナルスペースについて調べていたので、もっと詳しく学ぶことができた。今後、人との関わりの中で活かそうと思う。



パーソナルスペースについて考える

僕にとって今回の講座は新鮮な体験となりました。人によって、パーソナルスペースの大きさが違うのは知っていたけど、男女で形が違うのは知りませんでした。また、男女によって視点も違い、女子は視界の端の爪や髪が気になることを知り、今度、女子の髪型の変化に対し、気にかけてあげようと思いました。また、今回先生方が演技をしてくれたのを観て、その様子を笑っている人が多かったけど、最近はLGBTの人もいるので、それを受け入れられるようになりたいと思いました。



「性」の大切さ

この講演を聞いて、性はちょっと恥ずかしいことだと、ずっと思っていたけど、本当は、とても大切なことだとわかりました。他にもパーソナルスペースの男女の違いや、男女の性の悩みベスト3を知ることができて良かったです。今後は学んだことを活かしていきたいと思います。

自分も相手も大切に

異性と関わる中で自分のことや周りの人のことも大切にしないといけないと、あらためて実感した。人の身体に何かあったら馬鹿にするようなことはせず、相談に乗ってあげたりしながら、相手のことを考えてあげることが大切だと思った。

心と体の変化

学年が上がるにつれ、心と体にどのような変化があるのかが分かった。男女で見えている世界が違うということも驚いた。先生方が熱演してくれた人との距離感が人それぞれなので、相手の許可が必要なこともあるということが大事だと思った。今後の生活の中で距離感や性との関わり方を見直そうと思った。

人と上手くつき合うために

今日の講演で、お互いのことを考えることが大切だと学んだ。人によって、男女によって、人と接することができるスペースは違うし、考えていることが違うということを知った。他人の気持ちを知ることは、人と上手く付き合っていくための一歩だと思った。そして、逆に自分は人からどう思われているのかということを考え、行動することも大切だと考えた。今後の生活の中で活かしていきたい。

命に直接触れる仕事

助産師さんの仕事を「命に直接触れる仕事」ととらえていたのが素敵だと思いました。さらに自分が自分である確率は、とても低く、命は大切なものなんだということであらためて感じました。一番興味が沸いたのは、パーソナルスペースの話です。難しそうにみえて、普段の生活との関わりが深く、実演の説明もわかりやすかったです。僕もこれから性を大切にして、命をつないでいきたいと思います。

